

組 番 名前

佐藤さんの学校では、水害や中越大震災、中越沖地震などの災害に学び、防災について調べています。先日、防災センターを訪れた際、防災センターの大野さんから次のようなお話を聞きました。

資料ア 防災センター 大野さんのお話

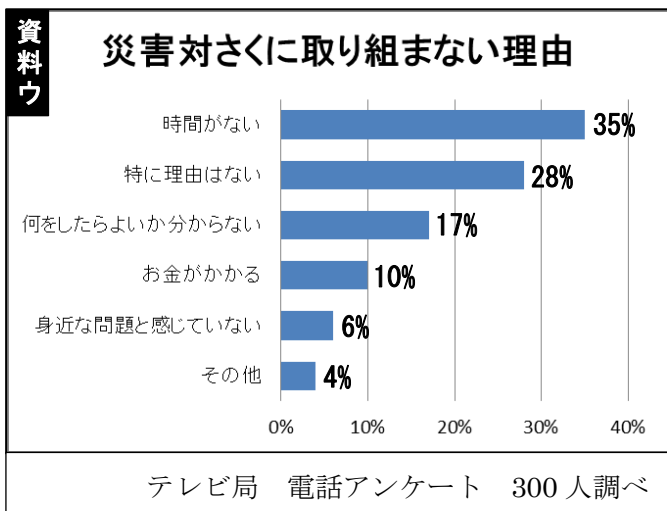
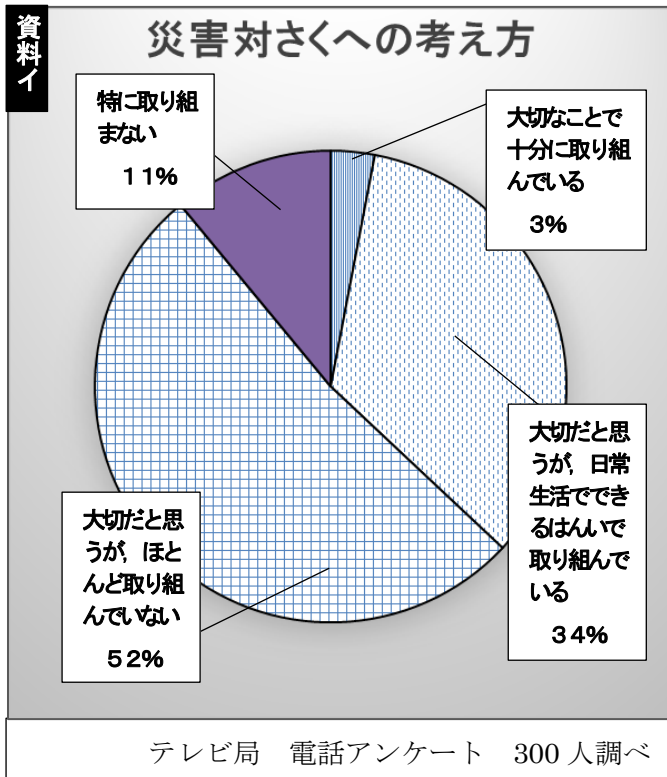
みなさんが生まれる一年前の二〇〇四年には、七・一三水害や中越大震災がありました。その時、新潟県ではたくさんの方が被害がありました。その経験から、日ごろから災害に備えておく、「防災」という考え方が注目されるようになってきました。この防災センターは、防災についてみなさんに学んでいただくための施設です。

防災では、「公助」「自助」「共助」という考え方が大切です。「公助」というのは、主に国や市町村が助けてくれることです。食料や水を前もってためておく、備蓄をしたり、防災マップを作成・配布したりしています。「自助」は、自分で日ごろから防災グッズなどを用意しておくことです。自分でできる防災ですね。「共助」というのは、近くの人たちと地域で取り組む備えです。地区のひなん所を決めたり、ひなん訓練をしたり、災害があった時に助け合う消防団を作ったりしていますね。消防団は、火を消すだけでなく、地震の時には、物資を運んだり、体の不自由な人のひなんを助けたり、けが人を救助したりもしますよ。

みなさんの周りも、「公助」「自助」「共助」の視点から見直してみてください。「公助」といえば、学校の施設を地震に強くする工事をしたり防災無線を流したりしていますね。また、「共助」では、地域での防災訓練をしていますか。「自助」では、それぞれに自分で何かしていますね。私は、家族とひなん場所について話し合っていますよ。はなればなれになっているときに地震が起きたら連絡がつかないですからね。みなさんは、これから、どういう防災をしていくとよいと考えますか。これから防災の勉強をする中で、考えてみてください。

佐藤さんたちは、防災センターの方のお話を聞き、防災について様々な資料やアンケートを調べていきました。そして、私たちにできる防災について話し合いました。

【資料】



資料力

地震の時、助かったこと

- ・携帯ラジオや充電器、電池などの準備をしていた。
- ・支援物資が来ている場所を近所の人から教えてくれた。
- ・倒れたものを近所の人と協力して直すことができた。
- ・消防団が、ひなん場所を連絡したり、一人では助けられない人を助けてくれたりしていた。
- ・かんづめなどの食料を備蓄（前もって買ってたくわえておくこと）していた。
- ・レジが壊れていても、お店の人が物を売ってくれた。
- ・ボランティアや自衛隊の人たちがご飯の準備や片付けを手伝ってくれた。

震災体験者アンケート調査 250人調べ

資料オ

地震の時、大変だったこと

- ・家族と連絡が取れなかった。
- ・どこに支援物資が集まっているか分からなかった。
- ・トイレがなかった。
- ・夜が寒かった。
- ・飲み水がなくて困った。
- ・おむつやミルクが足りなくて赤ちゃんがかわいそうだった。



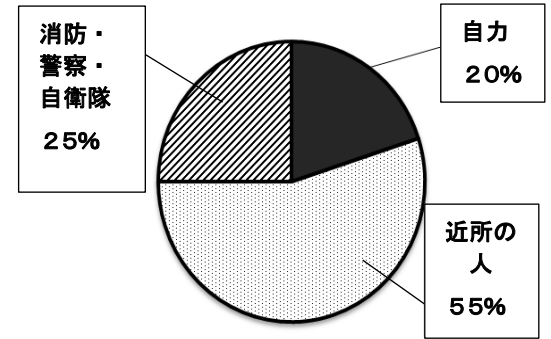
震災体験者アンケート調査 250人調べ



資料工

はんしん・あわ じ だいしんさい

阪神・淡路大震災時にくずれた建物などに閉じ込められた人は、だれに助けられたか。

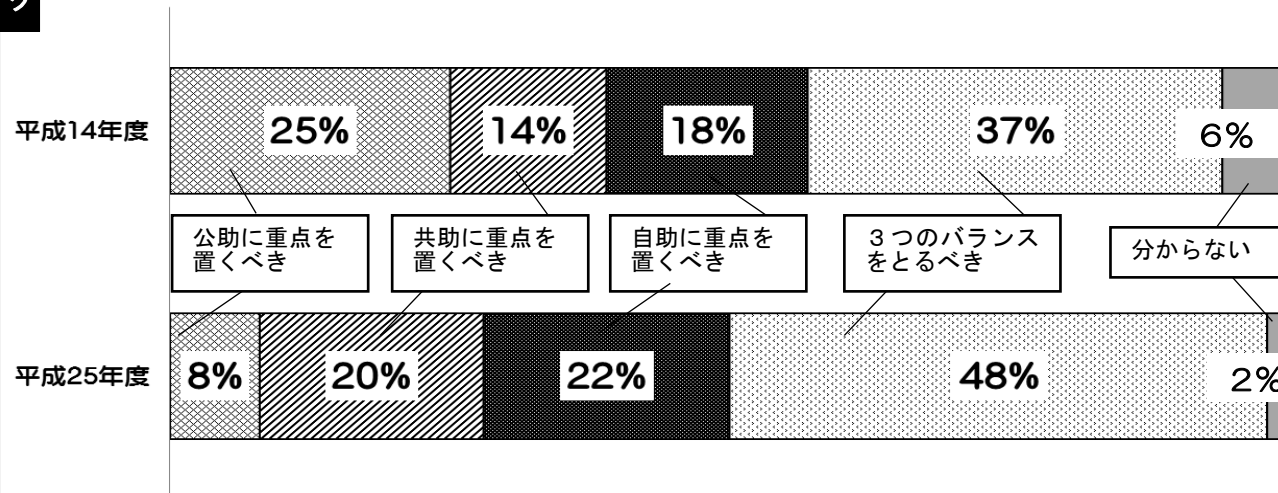


平成 28 年度版 「防災白書」 より



資料ク

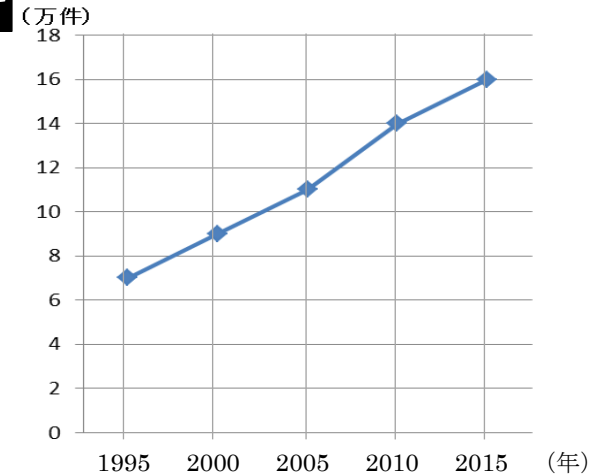
国民が重点を置くべきと考えている防災せいさく



平成 28 年度版 「防災白書」 より

資料キ

防災活動に取り組んでいる地域の集まり（町内会など）の数の変化



平成 28 年度版 「防災白書」 より

佐藤さんの学級では、防災の学習をし、地域の人のために「自分たちにできる日ごろの防災」についてまとめて、公民館に置いてもらってパンフレットを作ることになりました。そこで、学級で次のように話し合いました。

【話し合い】

佐藤さん

日ごろの防災で一番大切なことは、何だと思いますか。

鈴木さん

大野さんは、「公助」「自助」「共助」で考えることが大切だと言っていましたよね。

田中さん

「公助」「自助」「共助」のことを調べた【資料ク】があります。グラフでは、「自助」に重点を置くべきという人が二十二パーセントに増えています。私も、自分自身が災害に備えることは、すごく大切だと思います。

佐藤さん

でも、【資料イ】では自分で防災に備えていないという人が合わせて六十三パーセントもいたことにびっくりしました。まだまだ「自助」の気持ちはあまり広まっていないのかな。

鈴木さん

【資料ウ】を見ると、準備に取り組む時間がないという人が多かったですね。忙しいのかもしれないけれど、私は時間を作って、自分で準備をすることが大事だと思います。

佐藤さん

自分たちの家庭では、それぞれどんな物を用意しておけばよいと思いますか。

鈴木さん

① おむつやミルクが足りなくて大変だった、【資料オ】のアンケートにはあったね。赤ちゃんは、ミルク以外飲めないから、もしも手に入らなくなったら大変だよ。だから、ミルクなどを余計に用意しておくとういと思います。

田中さん

② わたしは、やはり何よりもきれいな水が大切だと思います。だって、きれいな水がなければ、飲むことができません。のどがかわくのはがまんできないよ。

佐藤さん

大事な物は分かりました。他に私たちは日ごろからどんなことを考えておけばよいのかな。

田中さん

【資料カ】を見ると、地震の時には近所の人に助けってもらったり、ひなん所を教えてくださいたりしていたみたい。近所の人と日ごろから仲良くしていることが大事だと思います。

佐藤さん

それは、「共助」ですよ。私の町内でも地域の消防団の人たちが災害に気を付けましようって呼びかけて防災への意識を高めてくれています。

鈴木さん

「公助」について考えることも大切です。市町村で防災パンフレットを作って地域に配布してくれています。どんな準備をすればよいか書いてあるので、よく読んでおくことも大事だと思います。

田中さん

私は、家族と話し合うことも……
(話し合いは続きます。)

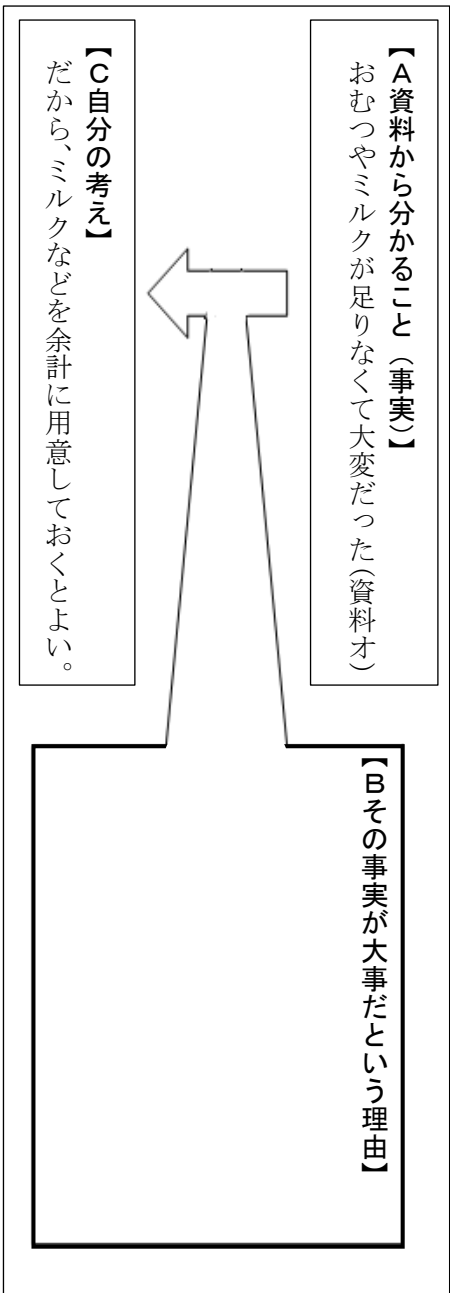


問い一 次の例は、「自助」「公助」「共助」のどれに当たりますか。線で結びましょう。

市町村で防災パンフレットを作って地域に配布する	・	自助
災害があったときに助け合う消防団を作っておく	・	公助
日ごろから食料や水を前もって買い、家に置いておく	・	共助

問い二

- ① 【話し合い】の中で鈴木さんが発言した内容①は、伝わりやすくするために「A資料から分かること(事実) → Bその事実が大事だという理由 → C考え」の順番で話していました。左図に理由を書いて、内容を整理しましょう。



- ② 【話し合い】の中で、田中さんが発言した内容②には、「Bその事実が大事だという理由」と「C自分の考え」がありますが、「A資料から分かったこと」がありません。どの資料を使って話をするとよかったですでしょうか。

資料【】

問い三

佐藤さんは、「自助」が大切だという意見をもちました。「自助」の大切さを伝える文章のまとめ【終わり】を次のように書きました。□にはどのような言葉を入れたらよいでしょうか。【中】の二つ目と【中】の二つ目を参考にして書きましょう。

自助が大切な2つ目の理由 【中】の2つ目	自助が大切な1つ目の理由 【中】の1つ目
二つ目は、地域のために自分から行動することが大事だからです。資料力では、「物資があるところを教えるもらって助かった」とあります。ふだんから安全な場所をさがしておいたり、ひなん場所を知っていたりすれば、周囲の人に教えることもできます。だから、まずは自分で防災に備える行動をするのが大事だと思います。	一つ目は、自分から防災の備えをすることが大事だからです。資料ウでは、防災の対応をしない理由に「特に理由がない」の人が二十八パーセントもいました。でも、自分でどんなものが必要かふだんから考えたり、家族でひなん場所を考えたりしておけば、いざというときに助けがなくても困りません。だから、大切なことなので、自分から防災の備えをすることを大事にすればよいと思うのです。

文章のまとめ【終わり】

このように、防災では、

□ をしたり、

地域のために自分から行動したりすることが、重要で。だからこそ、防災には特に「自助」の考え方が大切だと考えます。

問い四

佐藤さんは「自助」の考え方が大切だと述べていましたが、あなたは防災の大切さについて、特に「共助」が大切だということをパンフレットで地域の方に伝えることになりました。表の条件に合わせて意見文を書きましょう。資料は6国①、6国②ページから選びましょう。
 (左の構成メモを活用してもよいです。構成メモは得点に入れません。自由に活用してください。)

文章の構成について		(条件)	
<p>○ 三百六十字以上三百九十六字以内で書くこと。</p> <p>※ 題名や名前は書かずに行目から書き始める。</p> <p>○ 【始め】—【中(二つ)】—【終わり】の三部構成で、<small>だんらく</small>四段落で書くこと。</p>		<p>○ 二段落目、三段落目にはそれぞれ一つ以上の資料を選んで使うこと。そのときに、資料の記号も入れること。</p> <p>○ 二段落目、三段落目にはそれぞれ資料の言葉や数字など、「A資料から分かること(事実)」を書くこと。</p> <p>○ 二段落目、三段落目にはそれぞれ「A資料から分かること(事実)」の後に、「Bその事実が大事だという理由」と「Cあなたの考え」を書くこと。</p>	
【中】について		【終わり】について	
<p>○ 二段落目、三段落目にはそれぞれ「A資料から分かること(事実)」の後に、「Bその事実が大事だという理由」と「Cあなたの考え」を書くこと。</p> <p>○ 二段落目、三段落目にはそれぞれ「A資料から分かること(事実)」の後に、「Bその事実が大事だという理由」と「Cあなたの考え」を書くこと。</p>		<p>○ 【終わり】には、【中】で述べた二つのことと自分の意見(「共助」の考え方が特に大切であること)をつなげてまとめを書くこと。</p>	
【始め】	【中】		【構成メモ】
意見の表明 (1段落目)	「共助」が大切だという2つ目の理由 (3段落目)	「共助」が大切だという1つ目の理由 (2段落目)	まとめ (4段落目)
<p>わたしは、防災では「共助」が特に大切だと考えます。それは、次の二つの理由からです。</p> <p>一つ目は、 〃からです。 〃からです。</p> <p>選んだ資料の記号 A資料から分かること(事実)</p> <p>Cあなたの考え 〃からです。</p> <p>Bその事実が大事だという理由</p>	<p>二つ目は、 〃からです。 〃からです。</p> <p>選んだ資料の記号 A資料から分かること(事実)</p> <p>Cあなたの考え 〃からです。</p> <p>Bその事実が大事だという理由</p>	<p>一つ目は、 〃からです。 〃からです。</p> <p>選んだ資料の記号 A資料から分かること(事実)</p> <p>Cあなたの考え 〃からです。</p> <p>Bその事実が大事だという理由</p>	<p>このように、防災では()したり、()したりすることが重要です。だからこそ、防災には特に「共助」の考え方が大切だと考えます。</p>

